



南房総の風し

道徳科で求められる「考え議論する」とは

小学校では平成30年度、中学校では平成31年度から、「特別の教科 道徳」が全面実施となりました。学校全体で取り組むべき道徳教育は、「自己の生き方（人間としての生き方）を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと」を目指し、道徳科の授業では、「考え議論する道徳」への質的転換を図り、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが求められました。ここ数年、校内研修で道徳の授業改善に取り組む学校が増え、数多くの要請をいただいています。その中で話題にしていることを紹介していきます。

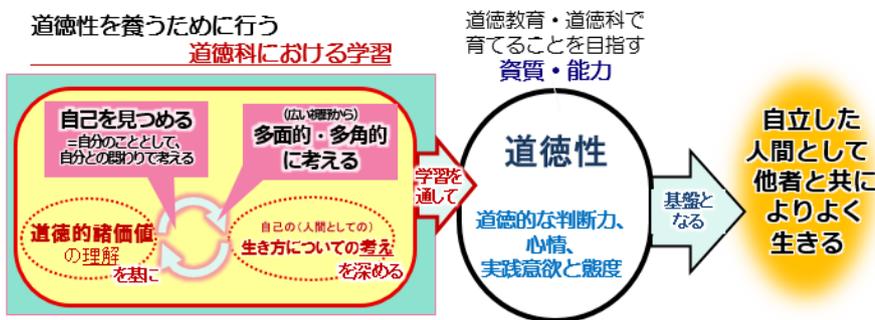
※（ ）の中は、中学校

道徳科の目標の構造

<道徳科の目標>

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

（括弧内は中学校の目標）



質的転換に向けて

- ★道徳的価値に迫るために、**教科書**を活用する。
- ★教材の登場人物への**自我関与**により、道徳的価値の理解を深める。
- ★道徳的価値に関する**問題解決的な学習・体験的な学習**など多様な指導方法を取り入れた授業を展開する。
- ★自分とは異なる意見をもつ**他者と議論**することを通して、道徳的価値を**多面的・多角的**に考える。
- ★多面的・多角的な思考を通じて、道徳的価値の理解を**自分自身との関わりの中で**深める。

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「**考え、議論する道徳**」の実現

シェアして
パワーアップ

なるほど！
わかった！

バーサス
ではない
友だちと自分で
よい方向・よい
生き方へ向かう
考えを見つける

えっちがうの？
そういう考えも
あるのか！

他者の思い

多様な
価値観
に気づく

ぼくは
こう思う

自分の思い

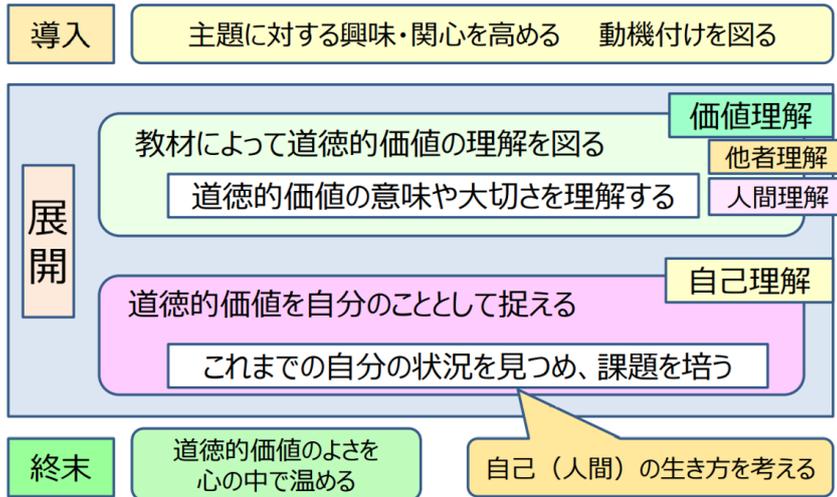
自分の
考えを
をもつ



教材を学ぶ
のではなく、
教材を使って
生き方を
学びます。

子供たちが、自分の考えをもち、他者と対話する中で多様な価値観に気づき、議論しながら、よい方向や生き方に向かう考えを導き出し、今後の課題や目標がもてるような授業を展開していきましょう。

道徳科で求められる基本的な学習指導過程とは



授業を組み立てるときは、「導入・展開・終末」という流れで構想を練ります。時間配分は、導入と終末は比較的短い時間で行い、教材を活用した発問や問い返しが重要となる展開に時間を費やします。導入と終末の時間は短いですが、展開と同様に大切な役割があります。これらの3つを深く関連させることによって、子供の意識の流れがつながり、深まります。導入で助走をつけて、展開で全力疾走して、終末でしっかりゴールさせるために、自分なりの考えと今後の方向性を持たせることが大切です。

導入の point

- ☆主題・道徳的価値への興味・関心を高める
- ☆主題と自分との関わり(経験)を意識させる
- ☆問題意識をもって授業に臨ませる

【導入の Spice】

- 事前アンケート ○経験談 ○日常の様子 など

「どうして」「なぜ」「知りたい」「自分のヒントになるかも」「よりよく生きたい」という思いになったら、教材の捉えも変わります。主体的に学ぶ意欲づけが鍵となります。

展開の point

- ☆教材の中の問題点や人物の生き方について考えさせる
- ☆自分との関わりで捉え、考えさせる
- ☆他者との対話の中で、多面的・多角的に考え、道徳的価値への理解を深めさせる
- ☆自分なりの納得解を見つけさせる

【展開の Spice】

- 主発問・補助発問・問い返し・切り返し
- 話し合いの形態(ペア・グループ・全体)
- 動作化・役割演技・道徳的行為に関する体験的な学習
- 場面絵・ペープサート・写真・動画・映像・実物 など

深く考え、他者と議論する中で、自分なりの「納得解(自分事として試行錯誤して得られた自分なりの結論)」を見つけられるように働きかけていくことが鍵となります。

終末の point

- ☆新たな考えを得て、道徳的価値への考えを深める
- ☆授業を振り返り、磨かれた思いや考えを自分の言葉でまとめる
- ☆自らを振り返り、自己の生き方について考える

【終末の Spice】

- ノート・ワークシートの活用
- 教師やゲストの説話
- 新聞やTVの記事
- 詩・手紙 など

導入時で価値について自分で考えたことと授業を振り返って自分の言葉でまとめたこととの比較を通して、学びの成果と深まりを実感することが生活に生かす鍵となります。

★参考資料 小学校学習指導要領道徳 中学校学習指導要領道徳

NITS 独立行政法人教職員支援機構 道徳科における研修動画

★文部科学省による以下のサイトが大変参考になります。ぜひ、授業に役立ててください。

「道徳教育アーカイブ」をインターネット上で提供しています。

<https://doutoku.mext.go.jp/>

